



「吉岡」誕生70周年

令和7年4月1日、自治体の名称として「吉岡」が使用されてから70年を迎えました。そこで、これまでの吉岡町の歩みを特集していきます。

「吉岡」の誕生

町村合併促進法の施行に伴い、明治村と駒寄村が合併することが決まった際に、新たな村の名前が募集されました。そして、2つの村を結ぶ吉岡川にちなんで命名された吉岡村は、昭和30年4月1日に産声をあげました。

「吉岡村」から「吉岡町」へ

その後、恵まれた自然と歴史のもと、先人により築かれた礎の上で順調に発展してきた吉岡村は、平成3年4月1日の町村制施行により吉岡町となりました。

そして現在へ…

現在の吉岡町は、町制施行後の上毛大橋や前橋伊香保線吉岡バイパス、高崎渋川線バイパスの開通のほか、駒寄スマートインターチェンジの開設などを経て、本格的な人口減少社会の中にあっても、その恵まれた立地や広域的なアクセスの良さ、充実した商業施設など日常生活の利便性から人口増加を続けており、さまざまな方面から住みやすい町として注目をいただいています。

合併当時の吉岡村の人口10,011人(1,680世帯)が、令和7年3月1日現在で22,660人(9,066世帯)になっていることから、「吉岡」の70年間の発展をうかがい知ることができます。

町では、これまでの姿を継承し、町のあるべき姿をより確かなものにしていくため策定した第6次吉岡町総合計画の将来像である、『思いを紡ぎ、未来につなげる まちづくり吉岡』の実現とさらなる町の発展を願っています。町民の皆さまや「吉岡」を応援していただいている皆さまと、この節目の年をお祝いしていきたいと考えております。

▼問い合わせ先

総務課 人事行政室

☎ 26・2240(直通)

1999年 上毛大橋開通



吉岡町の歩み

1955年	明治村と駒寄村が合併し、吉岡村誕生
1969年	吉岡中学校開校(明治中学校と駒寄中学校統合)
1987年	新庁舎・社会体育館完成
1991年	町制施行・吉岡町誕生
1996年	文化センター完成
1998年	よしおか温泉リゾートピア吉岡開業
1999年	上毛大橋開通 前橋伊香保線吉岡バイパス開通
2003年	保健センター業務開始
2006年	駒寄スマートインターチェンジ運用開始
2010年	道の駅よしおか温泉開業
2011年	北海道大樹町と友好都市協定締結
2018年	文化財センター開所 高崎渋川線バイパス開通
2021年	駒寄スマートインターチェンジの大型車対応運用開始